

親密ニナツタ。サウシテ私ハ大統領カラ「君トハイッデモ會フカラ  
來テ呉レ」ト言ハレ、或ル時ナドハ私ガ大統領ヲ訪問スルト、控室  
ニ先客トシテ佛蘭西大使「ヂュスラン」ガ待ツテ居ツタニ拘ラズ、  
後カラ行ツタ私ニ先ツ會ツタコトモアツタ。本來ナラバ高平公使カ  
ラ國務省ニ交渉シタ上デナケレバ、公使館附武官タル私ハ大統領ニ  
謁見スル譯ニイカヌノデアアルガ、ソレ以來「バーソナル・フレンド」  
トシテ、白堊館ノ所謂木戸御免トナリ、守衛其ノ他館員等モ皆私ヲ  
見知ツテ、全ク大手ヲ振ツテ出入シ得ルヤウニナツタ。  
我カ哨艦信濃丸ガ「ロゼストウエンスキー」ノ率ユル「バルチャ」  
艦隊ヲ發見シタノハ明治三十八年ノ五月二十七日未明デアツタ。  
「ルーズヴェルト」ハ日曜毎ニ私ノ住居ノ附近ヲ通ツテ、徒歩チ、

山下氏ハ英語ガ出來ナイノデ、當時在米國大使館附海軍武官デアツ  
タ私ガ色々柔道ニ就テ説明シタガ、即座ニ自分モ始メヨウト云フノ  
デ、白堊館ノ二階ノ圖書室ノ床ニ一杯大キナ「マット」ヲ敷イテ、  
稽古ヲスルコトニナツタ。大統領ハ私ニ、「忙シクモアラウガ暇ヲ  
見テ、今後モ一諸ニ來テ呉レ」ト言フシ、又山下氏モ言葉ノ關係デ  
私ニ同行シテ呉レト云フノデ、爾來私ガ通譯トイフ形デ附添ツテ、  
六箇月バカリヤツテ居ツタ。其ノ間種々ノ話ガアツタガ、兎ニ角大  
統領ハ日本ガ戰爭ニ於テ非常ニ強イノハ何カ原因ガアルニ違ヒナイ  
ト考ヘタラシク親シク日本人ヲ研究スル好奇心モ手傳ツテ稽古ヲ始  
メ逐次ニ日本ト云フモノヲ能ク了解スルニ至ツタラシカツタ。或ル  
時ノ如キ私ニ「自分ハ齊藤氏ノ忠臣蔵ノ英譯ヲ讀ンダガ、非常ニ興  
味ヲ覺エタノデ、晝中休暇ノ讀ミ物トシテ自分ノ子供ニ買ツテ與ヘ  
タ。熟々思フニ今度ノ日露戰爭ハ忠臣蔵ヲ大規模ニシタヤウナモノ  
デアル。日本人ハ侮辱ヲ受ケルト必ス復讐ヲスル。日露戰爭ノ抑々